

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	寒川町美化センター運営委員会		
日 時	平成23年2月7日（月）10時00分～10時40分	開催形態	公開
場 所	寒川町美化センター 会議室		
出席者	運営委員 藤澤輝夫 関口光男 大川 壽一 木内礼次郎 山下美智子 田代町民環境部長 小泉環境課長 岡崎 馬野 市川		
議 題	1 美化センターの運営状況について 2 その他		
決定事項			
議 事	1. 美化センターの運営状況について馬野技能員が別添資料説明をしました。それに対し以下の質疑応答がありました。 質問 藤澤委員 21年度と22年度の資料を比較し、茅ヶ崎市、寒川町の汲み取り人口や世帯の減少が見られるが、茅ヶ崎市の搬入車両台数が減っているのに対し寒川町が増えているのはなぜか。 回答 馬野技能員 台数につきましては積載量満タンにして搬入されないためです。収集の回り方によっては半分だけの時もあります。 質問 藤澤委員 搬入委託料は一台あたりの金額ではないのか。		

回答 小泉課長 月極で定額での委託料です。基本的には収集業務を行うのに年間通じて必要な人数、台数、運搬トン数に対しての必要最低限の委託料です。

質問 藤澤委員 何年後かに汲み取り世帯が極端に減って行くと思われるが、それに対する計画はしているのか。

回答 馬野技能員 そこまで見込んだ計画はしておりません。下水道普及率も頭打ち状態です。

小泉課長 前回の資料で「従量制の数値の把握が出来ない」と関口委員さんからご指摘を受けまして、今回従量制の集計を綿密に調べた結果、汲み取り人口684人の内従量制が74人、定量制が610人、世帯数では36世帯が従量制、298世帯が定量制でした。

質問 関口委員 美化センターの対応年数の問題等で、今後の施設自体のあり方について教えてほしい。

回答 小泉課長 美化センターに限らず寒川町は環境部門にゴミとし尿がありますが、茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の二市一町でこれらの処理計画を行っています。
この施設自体 30 年間くらいは維持していく形で長期的に計画的なメンテナンスと延命処置を行い、その間茅ヶ崎市、藤沢市を含めてこの施設が老朽化する前に広域でし尿処理施設について検討していく方向ですが、具体的な計画はありません。

	質問 関口委員 資料で浄化槽世帯人口が多少増加している傾向があるが、ある方面では「浄化槽を守るべきではないか」といった議論や「浄化槽に定着して進めた方が良いのでは」と町の進めてきた方向と違った意見が若干出てきている。 これだけ下水道が普及し、二市一町の広域で処理計画をしていくのだから、それに対する見解を出したらどうか。 回答 小泉課長 下水道の計画は既に行われてきた事で、環境課としては今後もう少し下水道の考え方や状況等に年々触れながら、浄化槽が必要な所か不必要な所か、その辺りのことも解るようにしていきたいと思います。 関口委員 広域で計画をしていく中、美化センターは年々処理人口が減少していく上での経済的な運営が必要なので、浄化槽のことも含めて随時計画を出していただきたい。 2. その他 3 月に 23 年度運営委員の推薦を依頼したい。
資 料	別添資料
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	山下 美智子 (23 年 2 月 14 日確定)